

【がん種】 [非ホジキンリンパ腫](#)
【レジメン名】 Pola+BR①1コース目
【登録番号】 011159
【1コースの期間】 3週間
【投与間隔調整規定】 -1日
【総コース数】 1コースまで
【催吐性リスク】 中等度:トレアキシム、軽度:ボライビー、最小度:リツキシマブBS
【抗がん剤の組織障害性】 ビシカント(壊死性):トレアキシム、ノンビシカント(非壊死性):リツキシマブBS、ボライビー
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、注入に伴う反応、発熱、疲労、傾眠、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚不全、下痢、便秘、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチー、脱毛、湿疹
【必要な検査】 一般採血
【根拠論文】 Cancer Sci 112:2845-2854, 2021. J Clin Oncol 38:155-165, 2019. J Clin Pharmacol 57:1400-1408, 2017. 2018001試験.

【点滴の時間】 [day1]初回約5時間, 2回目~約4時間, [day2]3時間10分, [day3]1時間40分
【その他】 対象患者: CD20+の再発・難治性DLBCL.
ボライビー: 155mgを超える場合は生理食塩液100mLに希釈する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	21
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	アセトアミノフェン錠 200mg	3 錠/回	内服	1日1回 リツキシマブBS投与30分前	○				
3	生理食塩液 50mL ソル・コーテフ注射用 100mg ポラミン注 5mg/1mL	1 B 1 V 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○				
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
5	生理食塩液 500mL リツキシマブBS点滴静注「KHK」	- mL 375 mg/m ²	側管	1mg/mLの濃度に調製 初回 50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大400mL/hまで 2回目~ 100mL/hで開始し、30分毎に100mL/hずつ速度を上げ、最大400mL/hまで	○				
6	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○	○			
7	生理食塩液 100mL アロキシン静注 0.75mg デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V 2 A 1 V	側管	30分	○				
8	生理食塩液 50mL ボライビー点滴静注用 蒸留水 100mL 調製後6時間以内に投与を終了する	1 B 1.8 mg/kg 1 B	側管	初回90分、2回目~30分 フィルター使用 ボライビー溶解用	○				
9	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 2 A 1 V	側管	30分			○		
10	生理食塩液 50mL トレアキシム点滴静注液 調製後6時間以内に投与を終了する	1 B 90 mg/m ²	側管	10分		○	○		